

Vol.143

院長 関の

Face to Face

2020年5月1日発行

新型コロナウイルスによく見られる傾向として「サイトカインストーム」というのがあります。サイトカインとは細胞から出る「他の細胞に命令するための物質」です。サイトカインの命令により、ウイルスから身を守るために発熱したり痛みが出たりするので。コロナウイルスに対してサイトカインが放出されますが、ウイルスによる炎症の量が多くなるとサイトカインも大量に

新型コロナウイルスから身を守る 最後は自分の免疫力(4)



放出されます。この現象をサイトカインストーム(免疫暴走)と呼びます。つまり過剰防衛が起こるわけです。新型コロナウイルスではこれによる死亡が多く見られるようです。特に血液の凝固異常が起こると血栓が形成され、血栓が肺や心臓、脳などに飛んで容態が急変し、死亡の原因になるといふこともわかってきました。もちろんコロナウイルスその

ものが血管を攻撃して血管を傷つけ、血栓を作るといふ報告もあるようです。いづれにしろ当初言われていたようなインフルエンザより少し恐いくらいの8割は軽症の病気・・・ではないことがはつきりしてきました。サイトカインには活性酸素も含まれています。日頃から活性酸素を除去するには「エアナジール」が最適です。そしてビタミンCやDを積極的に食事やサプリメントで補給し、喫煙はもちろん、ストレスを溜めないようにして新型コロナウイルスに備えましょう



関 修一(せきしゅういち)

健育会 東銀座整骨院・整体院・

鍼灸院 院長

代替医療の総合治療院としての確立を目指す。タイトルのFace to Faceは「患者さん自身と向き合って患者さんの症状と闘う」ことを願ってつけた

※毎月一日の発行です